

中央校 コミュニティ・スクール通信

東原庫舎中央校 学校運営協議会

○多久学講話(6年生)

多久市郷土資料館の藤井先生から、様々な年代の焼き物や化石などを見せていただき、これまで社会科や理科で学習した内容と結びつけながらお話を聞くことができました。特に、化石は多久市内や中央校の敷地内から発見されていたことなどを知り、子どもたちは驚きや関心をもって話を聞くことができました。また、江戸時代からあった多久の名産品や6体のお地蔵さんの話など、身近にある多久の良さについても改めて知ることができ、多久について様々な分野から学ぶことができました。



○感謝と夢を伝える会(4年生)

子どもたちはこの日に向けて、リコーダーや歌、将来の夢の発表練習を一生懸命頑張りました。お家の人への「ありがとう」という気持ちや、自分の将来の夢について、日頃はなかなか素直に言えないことも、この機会に伝えることができました。特に、第二部では、一人1分という短い持ち時間の中で、どうすれば伝えることができるかを真剣に考えてスライド作りを行い、自分の思いを伝えることができてよかったです。



○立志式(7年生)

子どもたちは、自身で選んだ大切な「漢字一文字」を掲げながら、保護者や友達の前で、自分の「^{こころざし}志」を一人一人発表しました。練習では、発表内容を暗唱するだけでなく、気持ちを込めて、自分の言葉になるようにしていました。当日に言葉を述べる子どもたちを見ていると、文字を選ぶ姿や発表内容を一生懸命に考える姿が思い出され、大変感動しました。これから大きくたくましく育ってほしいと思いました。



○合格激励会(9年)

多久聖廟において、合格祈願を行いました。これからの夢や目標に向かって、新たな誓いと努力を絵馬などに書きました。中央校で9年間学んできたことを生かし、一人一人が精一杯の力を発揮して、頑張ってくれることでしょう。



○高齢者疑似体験(5年生)

社会福祉協議会の方、地域のボランティアの方々に協力をいただいて体験しました。体験スーツやゴーグル、耳当て、手首と足首の重りなどを装着して、校内の階段の上り下りをしたり、手袋をしたままビーズ挿みをしたりして高齢者の方の動きづらさや気持ちを体験しました。予想以上に高齢者の方の生活が大変だと知り、子どもたちは高齢者の方に会ったら、できることがあれば手伝いたいと意欲を高めていました。



○わくわく交流会・2回目(1年生)

校区内の幼稚園・保育園児と2日目の交流会をしました。4月から小学校に入ってきて安心できるように学校の勉強や掃除、給食など学校生活の様子を劇にして紹介しました。その後は、1年生と園児がグループを作り、学校の中にあるいろいろな教室の見学をしました。1年生は、優しく手を引いたり、教室の説明を分かりやすく教えたりしていました。

